

■木育の意義

子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みを通して、木を身近に感じ、木への親しみや木の文化への理解を深め、木の良さや利用の意義を学んでもらい、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むこと。

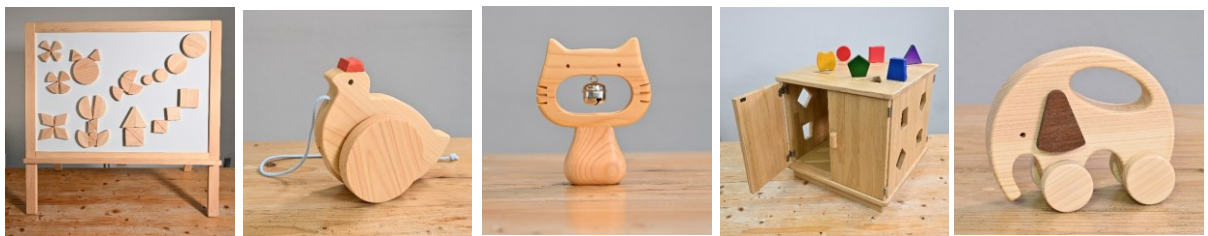


■木製おもちゃの開発・普及活動

-県産材玩具の開発

子どもたちに木に触れてもらう機会を増やすため、県内で活動する木工作家の協力を得て、県産材を使ったおもちゃの開発を行いました。また、現在はより多くの子どもたちにより良い木のおもちゃが提供できるように、子どもたちと日々向き合われている保育施設の先生方と一緒に木のおもちゃを開発しています。

木のおもちゃが普及することは、滞っている山の資源の循環を促し、地域の活性化にも寄与することにつながります。

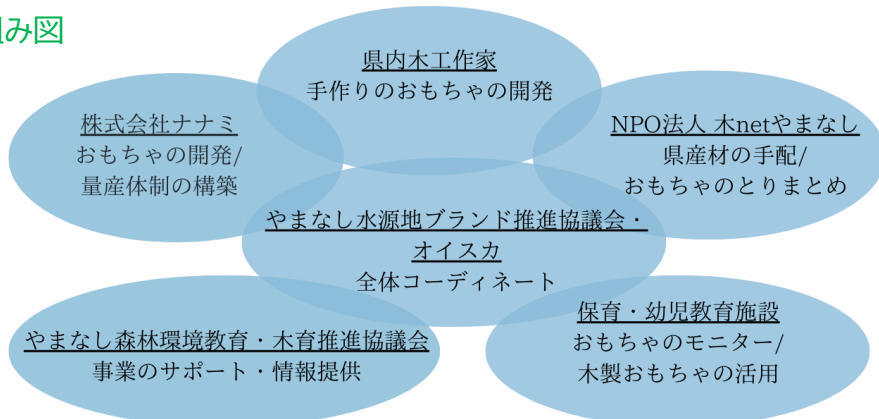


-木育の推進（木育スクールの実施）

子どもたちに木のおもちゃを使ってもらうにあたり、子どもたちと接する大人の方々にまずは木の良さ、木が育った森のこと、おもちゃの作り手の思いなどを知っていただく木育スクールを実施しています。



■関係者仕組み図



■オイスカが目指すこと



木育

木のおもちゃの導入

木に触れる機会を増やす

木を学ぶ機会を増やす

※ 木製玩具を導入いただく際に活用いただける補助金のご紹介

■やまなし森林環境教育推進事業費補助金

子どもたちが、森の大切さや木の魅力を学び、森林や木の文化を継承する豊かな心を育むため、県内において森林体験活動を企画する者や木育を推進する者に対し、以下の補助金を交付する。

【木にふれあう場の創出】

内容：子どもやその親が木にふれあうことができる場を作るために、キッズスペースの設置・改修に必要な経費

日常的に子どもが木に触れられるように木製玩具、遊具及び椅子や机などの什器等の購入に係る経費

対象：保育所、幼稚園、認定こども園等及び認可外保育施設（公立施設は除く）及び不特定多数の人が利用する施設を有する民間事業者

* その他 【森林体験活動企画支援】、【木育インストラクター養成】等



■やまなし森林環境教育・木育推進協議会とは

現代社会においては、日常生活の中で木に触れる機会が減少し、人と森林との関わり合いが希薄化している事を受け、森林・林業と関わりが薄かった個人や団体などが森林との関わりを深める取り組みが求められている。そこで森林環境教育・木育に関する専門的な知識を有する者、活動等の取組実績がある者、森林・林業・木材産業の専門的な知識を有する者、効果的な事業展開のノウハウを有し、多くの業種との交流がある者など、教育、産業、行政など幅広い分野が連携し、様々な視点から意見を聞き、幼児期から森林や木と関わる環境を提供し、森づくりに貢献する豊かな感性を持った人材を育成することを目的に設立。

オイスカHP



問い合わせ先：やまなし水源地ブランド推進協会

TEL:055-267-5951